



一般社団法人

富山県作業療法士会 ニュース

平成28年度 No.2 第121号 平成28年8月29日

発行 富山県作業療法士会

会長 田村 良子

印刷 (株) チューエツ

富山県作業療法士会ホームページ <http://toyama-ot.sakura.ne.jp>

富山県作業療法士会会員数：536人

第53回日本リハビリテーション医学会学術集会に参加して

市立砺波総合病院 中崎 謙一

この度、国立京都国際会館・グランドプリンスホテルで行われました第53回日本リハビリテーション医学会学術集会に参加致しましたので報告させていただきます。

本学会の参加者は7300名と、例年の2倍近い規模で、京都府立医科大学の久保 俊一会長のもと盛大に開催されました。特別講演14、海外招待講演11、シンポジウム・パネルディスカッション44、教育講演86 共催セミナー37セミナー、ハンズオン・デモンストレーション・企画セミナー12、演題発表：医学会員1014、関連職種814演題と、企画が多すぎてまわりきれない程の盛り沢山な内容でした。

会場の入り口から京都らしい演出で圧倒されました。



テーマは「軌轍Kitetsuと融和Yuwa」。先人の「軌轍」すなわち轍(わだち)から基本的な知識と技能を学び各臨床医学分野との協調、多職種間の連携による融和を図ることで、この学問分野を担う広い領域の整理とincubationを行い、さらなる飛躍ができるようにとの願いが込められている

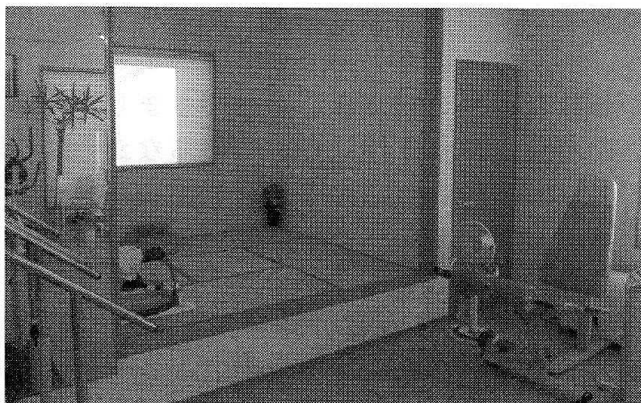
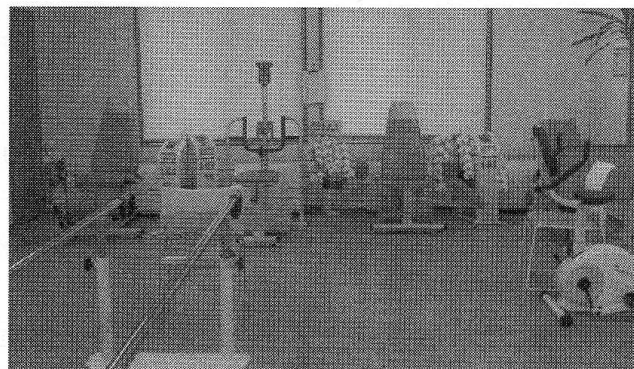
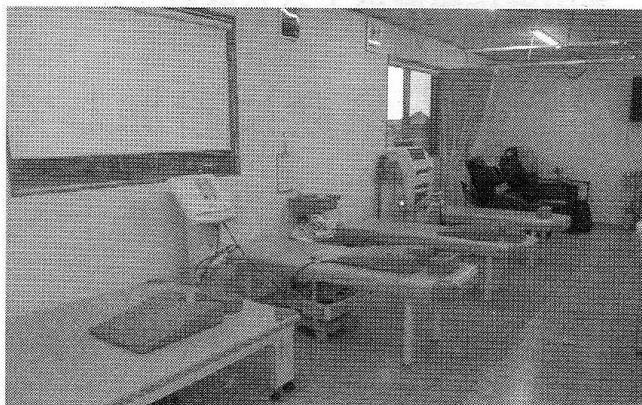
そうです。

今回、私事ではございますが、ポスター発表の機会を頂きましたので、行ってまいりました。リハ医学会は初めての参加で、かなり緊張しましたが、当院のスタッフの方のサポートもあり、何とか無事に発表を終えることができました。質問もいただき、同じような思いを持ちながら臨床現場で葛藤しておられる方とも意見交換ができ、大変有意義な機会となりました。

学会に参加しての感想ですが、大手自動車メーカーのTOYOTAが歩行練習アシストやバランス練習アシストの機械を製作中であつたり、慶応とパナソニックが脳波BMI上肢リハビリテーションシステムを研究開発中であつたり、嚙下の3DCT画像であつたり、対麻痺の方が機械を装着して歩いたり等々、リハ分野での医療機器の導入が進んできている印象を受けました。

最後に、OT協会のポスターで「いつもの生活って奇跡でした」という言葉がありますが、最近、その言葉にとっても共感させられます。病気になる前は、普通の生活なんて当たり前と考えると思いますが、当たりの生活こそ最高水準の生活であり、病気や障害を抱えるとその価値に気付く方が多くいらっしゃいます。また、難渋するケースに出会うと益々そう思います。しかし、病気や障害を抱え、作業療法を行い、再び本来の日常にちかづいていく患者さんの様子は、こちらの立場からみていると「その姿もまた、奇跡だなあ」と思うこともあります。機器が進歩していったとしても、患者さんの日常を支えることは変わらないことであり、その中で作業療法士として患者さんの生活によりそいサポートできるよう今後も日々精進しないといけないなあと改めて思いました。以上簡単ではありますが、参加報告とさせていただきます。

当施設は平成22年6月1日に開設したデイサービスです。通常のデイサービスは食事や入浴サービスの提供がありますが、当施設はそのようなサービスの提供はありません。サービス提供時間が約3時間、午前・午後の2単位制半日タイプの「リハビリ特化型デイサービス」です。



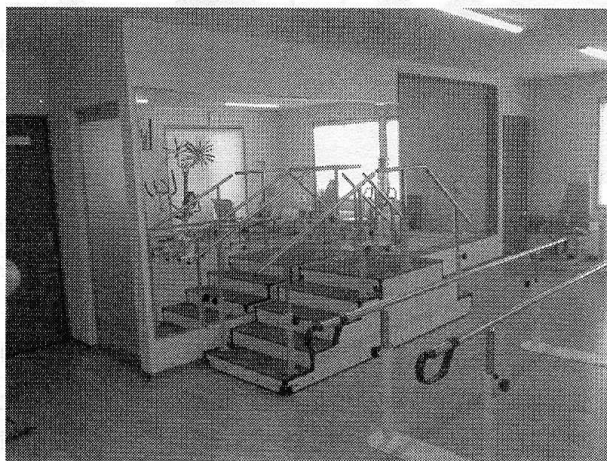
当施設では個別リハビリ、パワーリハビリ、物理療法、レクリエーション体操、脳トレ等大変多くの機器で多彩なプログラムを提供しています。利用定員が午前・午後ともに18名と小規模であり、利用者様にはゆったりとリハビリに取り組んでいただいています。利用者様2名に対して職員が1名以上と手厚いサポートが当施設の自慢です。また、経営者は私と同じで先輩OTなので必要な物、欲しい物は何でも手配・準備してもらえてプログ

ラムの提供には困りません。

当施設の姉妹店として3年前に高岡、今年7月に砺波に開設しました。当施設は今年4月11日に新築移転オープンしました。移転前は小矢部市中心部の石動町商店街の中でしたが、現在は郊外にあるため、田園風景が広がりメルヘン建築やクロスランドタワーを眺めることができ、窓から見える風景を楽しみながら利用いただいています。また、移転前は商店街の空きテナントで営業していたので既設のトイレが一つしかなく、利用者様と職員でトイレ渋滞を起こすことが度々ありましたが、現在はトイレの数も増え、利用者様・職員ともに快適に過ごせるようになりました。

利用者様の話しをしっかりと聞き、真摯にニーズに応える、全利用者様に80%以上の満足度でご自

宅に戻っていただくことをモットーに、これからも利用者様・職員ともに明るく楽しく過ごせる施設づくりを目指してまいります。



平成28年度 理事・各部長名簿

役 職 名	氏 名	所 属
会 長	田 村 良 子	地域リハビリ支援室タムラ
副 会 長	松 岡 暢	ケアポート庄川
常務理事	島 津 康 二	温泉リハビリテーションいま泉病院
常務理事	丸 本 薫	谷野呉山病院
常務理事	作 田 清 子	市立砺波総合病院
理 事	齋 藤 洋 平	南砺市民病院
理 事	高 林 一 彦	アルカディア雨晴
理 事	田 邊 はるみ	みしま野苑ひかり
理 事	谷 口 利 香	あさひ総合病院
理 事	橋 爪 佳 美	山田温泉病院
理 事	松 本 和 美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
理 事	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
理 事	森 伊津子	厚生連高岡病院
理 事	桐 山 由利子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
理 事	古 澤 学	富山市民病院
監 事	浅 生 弘 美	国立病院機構 富山病院
監 事	小 倉 努	黒部市民病院
事業局長	作 田 清 子	市立砺波総合病院
普及指導部長	飯 野 美 希	矢後病院
制度対策部 保険委員会委員長	佐々木 真利子	市立砺波総合病院
認知症初期集中支援チーム推進委員会委員長	齋 藤 洋 平	南砺市民病院
MTDLP推進委員会委員長	藤 井 暁 子	富山医療福祉専門学校
福祉用具相談支援事業推進委員会委員長	澤 木 佳 子	富山県介護実習・普及センター
災害リハビリテーション委員会	高 林 一 彦	アルカディア雨晴
訪問リハビリテーション推進委員会委員長	田 邊 はるみ	みしま野苑ひかり
地域アドバイザー推進委員会委員長	橋 爪 佳 美	山田温泉病院
学術局長	浅 生 弘 美	国立病院機構 富山病院
基礎医学部会長	市 森 知 恵	富山労災病院
身体障害部会長	裏 田 将 志	南砺市民病院
精神障害部会長	堀 口 明 美	谷野呉山病院
発達障害部会長	高 山 愛	社会福祉法人 セーナ苑 医務部
障害老人部会長	菅 澤 大 介	金沢医科大学氷見市民病院
地域リハビリテーション部会長	高 橋 佳 孝	南砺市民病院
アクティビティ部会長	狩 野 一 裕	三輪病院
企画調整局長	丸 本 薫	谷野呉山病院
企画部長	丸 本 薫	谷野呉山病院
調査部長	三 松 勝	南富山中川病院
教育局長	谷 口 利 香	あさひ総合病院
教育部長	能 登 健 司	かみいち総合病院
事務局長	島 津 康 二	温泉リハビリテーションいま泉病院
総務部長	吉 波 美穂子	富山医療福祉専門学校
財務部長	藤 井 詩 穂	富山市民病院
福利厚生部長	作 田 甚太郎	西能病院
広報部長	田 中 康 太	市立砺波総合病院

「きときとハンドセラピー勉強会に参加して」

公立南砺中央病院 東山 笑美

2016年5月21日に富山大学付属病院で開催されたきときとハンドセラピー勉強会に参加させて頂きました。

第5回となる今回は橈骨遠位端骨折がテーマで、富山大学付属病院整形外科医の頭川峰志先生の講義を受講後、症例検討、プリント製作を行いました。

講義では橈骨遠位端骨折の診断・治療に必要な基礎知識について学びました。画像所見や術中写真などの資料もあり分かり易く、リスクや注意点についても詳しく知ることが出来ました。

症例検討では他院で行われている評価・治療の実際やADL・IADLに合わせた固定方法について話を聞くことができ勉強になりました。

プリント製作では小グループに分かれCock up splintの製作を行いました。アクラプラスは温めることで半透明になり何度でも形成し直すことが出来る特徴があるということでした。そのため形成後肌に触れる部分を滑らかにする際も補整し易い様に感じました。製作時は各グループに指

導者の方が付いて下さり、スムーズに進行することが出来ました。製作を通し参加者の方々とも交流出来たことも良かったです。

今回の勉強会はハンドセラピー初心者の私でも分かりやすく、すぐに臨床で使える知識・技術を学ぶことができ自身のスキルアップに繋がったと思います。

また、子育て中の私にとって勉強会への参加はなかなか難しい面もありますが、午前から2時間程度の勉強会ということで時間的にも参加し易くありがたかったです。

勉強会終了後橈骨遠位端骨折の患者様を担当させて頂く機会があり、勉強会で学んだ基礎知識を踏まえた上でリスクに注意しながら評価・治療を進めることができました。

知識・技術・経験全てにおいて未熟な私ではありますが、これからも周囲の協力を得ながら勉強会への参加を継続し、患者様により質の高い治療を提供出来るよう自己研鑽に努めていきたいと思っています。

新入会員の横顔

1. 名前
2. 施設名
3. 出身校or旧所属施設
4. 趣味・特技
5. 好きな芸能人
6. マイブーム
7. OTとして働いてみての感想
8. 今年チャレンジしたいと思っている事



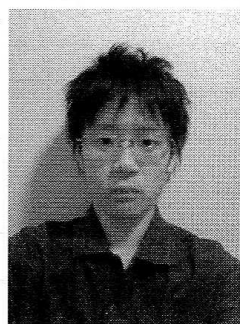
1. 谷内 桂槇
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 富山県医療福祉専門学校
4. 映画鑑賞
5. 城島 茂
6. ジムに通う事
7. 想像した以上に大変です
8. 探している途中で



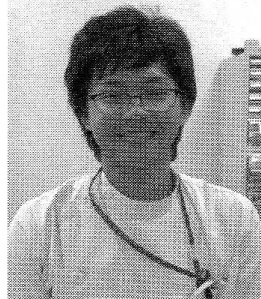
1. 野上 由理香
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 富山医療福祉専門学校
4. 漫画を読むこと、DVD観賞
5. 堺雅人さん
6. 岩盤浴、アクセサリー作り、散歩
7. 周りの方々のおかげでなんとかやっています。まだまだ失敗ばかりですが…。患者様や先輩方、同期の皆にはいつも本当に感謝しています。たくさん学んでいけるようにこれからも頑張ります！
8. スノーボード



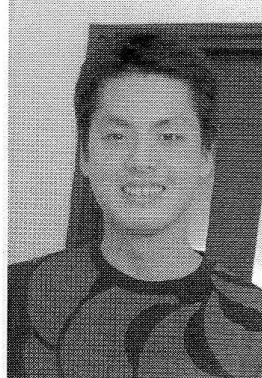
1. 原田 莉歩
2. 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
3. 佛教大学
4. お洒落なカフェや美味しいラーメン屋さん探し
5. 多部未華子さん
6. サボテンの観察
7. 楽しさと難しさを感じています。
8. 書道、ヨガ



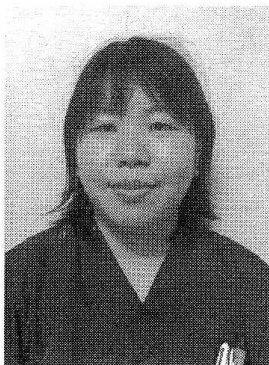
1. 大房 賢五
2. 富山県済生会高岡病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 音楽、聴いたり読んだり歌ったり♪
5. イモト
6. うどん
7. 恵まれた環境で毎日が充実しています。色々な気付きに対して1つ1つ学んでいきたいと思っています。
8. フライボード！



1. 端 翔平
2. 済生会高岡病院
3. 国際医療福祉専門学校七尾校
4. アクアリウム、観葉植物
5. 星野 源
6. バスフィッシング
7. まだまだ分からない事も沢山ありますが日々勉強して患者さんのためになれるように頑張っていこうと思っています。
8. -15キロのダイエット。



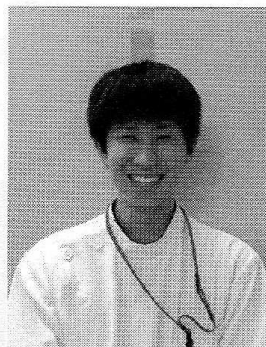
1. 石井 広平
2. 富山協立病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 音楽を聴く、野球観戦
5. Acid Black Cherry
6. 果肉入りゼリーを凍らせて食べる
7. 勉強すべきことが多く、今後1つ1つの経験を通して学んでいきたいと思っています。コミュニケーションの大切さも日々感じています。
8. ジップラインアドベンチャーに挑戦したいです。



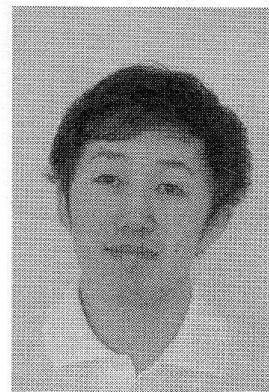
1. 出口 瑠華
2. 富山協立病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. アニメ、漫画を見ること、カラオケ
5. 相葉雅紀
6. UVレジンでキーホルダーを作ること
7. 思っていた以上に考えることが多く、大変ですが、患者様と話しているととても楽し

いので、やりがいを感じます。

8. TRPGのセッション



1. 松本皓嗣
2. 高岡ふしき病院
3. 福井医療短期大学
4. スポーツ
5. 木村文乃
6. 釣り
7. 患者さんの悩みに寄り添っていける職業だと思います。
8. 今は新人としてできることを1つずつやっていきたいです。



1. 向野 一樹
2. シルバーケア栗山
3. 富山医療福祉専門学校
4. サッカー観戦、音楽鑑賞
5. 出川哲郎、中川家礼二
6. ケーブルテレビでのサッカー観戦
7. OTの仕事は利用者に対するリハビリの他に車椅子の修理など生活全般をみなくてはいけないためとても大変です。日々仕事をしていく中で利用者、他職種との関わりや、学

生時代に勉強した事以外に学ぶ事の多さから、作業療法の奥深さを感じました。これから担当する利用者も徐々に増えるなど業務で自分が関わる事が多くなると思います。その時に、しっかりとした仕事ができる様、毎日勉強する事、先輩方に質問する事を忘れずに一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

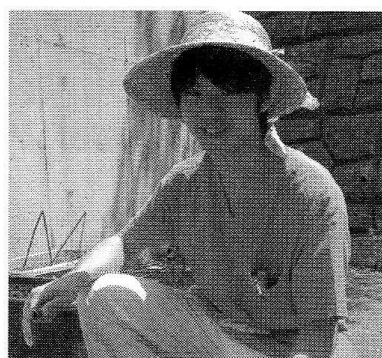
8. 海外のサッカーチームの試合を観戦したい。横浜へ旅行がしたい。



1. 中井 美咲
2. 介護老人保健施設ケアポート庄川
3. 国際医療福祉専門学校七尾校
4. 読書、茶道
5. いきものがかり
6. カフェめぐり
7. まだ分からないことが多いですが、利用者の方に笑顔で

ありがとうございますと言われることにOTとしてやりがいを感じています。

8. まだまだこれからなので勉強会などに積極的に参加して新しい知識を身に付けていきたいです。



1. 高山 恭兵
2. 砺波総合病院
3. 芳珠記念病院 (石川県)
4. アクアリウム、動物園めぐり
5. さかなクン
6. 旅行
7. 患者さんと向き合う中で自分の知識、力不足を日々

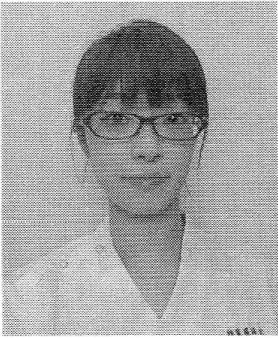
痛感します。ですが、OTとして患者さんが地域でいきいきと生活出来るよう支援することにやりがいを感じ、OTになって良かったと思ひながら働いています。地域の方々をより良く支援出来るようこれからも精一杯頑張ります！

8. 世界水槽コンテストに参加。上位入賞目指します！



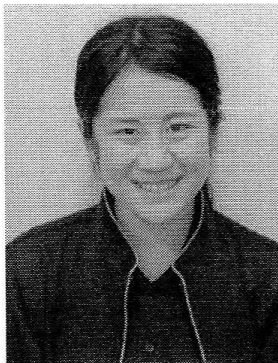
1. 稲場 望
2. くろべ福祉会
3. 富山医療福祉専門学校
4. 趣味：ドライブ、綺麗な景色を見ること、美味しいものをお腹いっぱい食べること
特技：大きな声で返事ができる
5. ポルノグラフィティ
6. 植物を育てること
7. 学生のときに想像していたより万倍楽しいです！

8. しばらく何も食べたくなくらい、お腹いっぱい食べてみたいです。

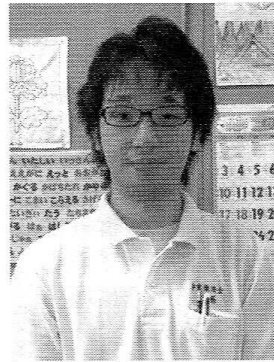


1. 村石 奈々子
2. 富山城南温泉第二病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 洋画を観ること
5. 西島秀俊
6. 動物癒し動画
7. 慢性期～終末期の患者様に対し、自分ができることは何かを毎日模索しながら働いています。理想と現実の差に悩むこともありますが、患者様の笑顔と感謝の言葉に励まされながら頑張っています。

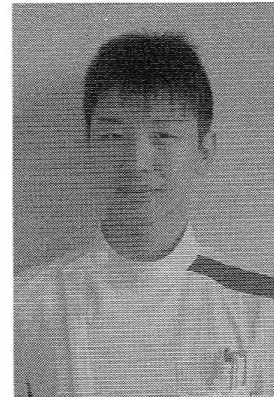
8. DIY



1. 岡元 香奈
2. 魚津緑ヶ丘病院
3. 日本福祉大学
4. 旅行
5. 斉藤工
6. ドライブ
7. 大学で学んだことと実際の現場とのギャップに戸惑うこともありますが、沢山のことを吸収できるように楽しみながら頑張っています。
8. カメラ



1. 砂原 真祐翔
2. 温泉リハビリテーションいま泉病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 映画鑑賞
5. 藤原竜也、久保田正孝
6. 新発売のお酒のチェック
7. OTとして働いてみて、家族、対象者の方に分かりやすいように説明することの難しさ、対象者をより深く知るために思いを傾聴、他職種との連携、こういった声掛けをするのが非常に重要だと感じました。
8. 旅行 宮古島あたりにいきたい



1. 藤永 賢人
2. 医療法人社団あずさ会 川田病院
3. 富山医療福祉専門学校
4. 吹奏楽で打楽器を10年間続けていて、ドラムやマリンバなど色々な楽器を叩きます。また、社会人吹奏楽団で行事に参加し、色々なステージで演奏しています。
5. Acid Black Cherry、cinema staff、ONE OK ROCK

6. 休憩時間に少しだけエアロバイクを漕ぐこと
7. 患者様により良い作業を提供するために、まず自分自身が色々なことを知っていることが大事だと実感しました。頭の中で思っていることでも、実際にやってみると全然できなかつたり、今まで避けていたことをやってみると意外にも楽しめたりと、日々勉強しないと前に進めないですが、患者様に職員として、OTとして認めてもらうためにこれからもっと色々なことに挑戦していきたいと思っています。
8. ①自分が提供できるアクティビティを増やす、②研修会へなるべく参加する

平成28年度 第3回理事会

場 所：谷野呉山病院

日 時：平成28年7月11日(月) 19:00～

参加者：田村・松岡・浅生・吉波・島津・小倉
高林・田邊・齋藤・森・松本・桐山
古沢・丸本

〈報告事項〉

1. 都道府県作業療法士連絡協議会通常総会5月29日：発展的解散で決議された。現役員の任期は残務処理あり今年度までとする。残金については記念誌の発行及び各士部会に均等分配とする
2. 熊本地震災害義援金10万円 熊本県士会に送付
3. 認知症OT推進委員の推薦 斉藤理事を推薦 11月19、20日に全国推進会議に出席
4. 富山医療福祉専門学校20周年記念講演会・祝賀会 6月12日会長が出席

5. OT協会平成29年度「作業療法推進モデル事業」へ以下で応募した 発達障害部会より「学校生活支援事業」で担当は渡辺氏（富山医療福祉専門学校）採択されれば予算がつき47都道府県会で報告をすることになる
6. 地域ケア会議人材育成研修会 6月25、26日 橋爪氏・菱田氏参加
7. 健康と長寿の祭典 富山県功労表彰候補者に田村会長を推薦
8. 47都道府県委員会組織強化部アンケート提出済み 内容は養成校との連携・入会促進など
9. 「新たな富山県民福祉基本計画」策定に係る説明会 7月5日 田村会長出席
10. 富山県リハビリテーション専門協議会会議 7月19日19時～
11. 東海北陸作業療法士会リーダー研修会 12月3、4日 サンシップ富山にて 両日とも富山大学教授に講師依頼で決定、詳細は今後検討、各県士会に公文書を発送済み

Toyama

Prosthetics & Orthotics Service

<http://www.tpo-morita.com>



【営業品目】

義手・義足・補装具等 製作修理

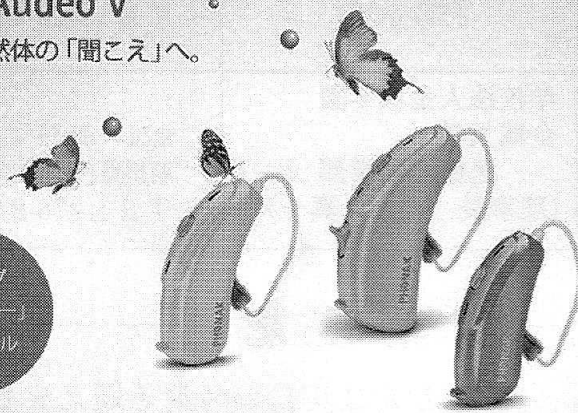
オーダーメイド靴 製作

車椅子・ストーマ・補聴器

福祉用具貸与販売

Phonak Audéo V

また一步、自然体の「聞こえ」へ。



新チップ
「ヘンチャー」
搭載モデル

(株) 富山県義肢製作所 富山県補聴器センター

〒930-0042 富山市泉町1丁目2-16

TEL (076) 425-4279

FAX (076) 425-4587

E-mail t-gishi@cronos.ocn.ne.jp

介護保険対応! ベッド・車椅子・レンタル!

車椅子
→ 480円より
ベッド
→ 700円より

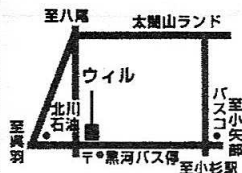
リースガール



株式会社 **ウィル**

TEL (0766) **56-7099**

FAX 56-3395



手芸・毛糸の店

- | | |
|---------|----------------|
| ○手芸糸 | ハマナカ |
| ○刺し子 | オリムパス、ナスカ |
| ○ビーズ手芸 | トーホー、ミユキ |
| ○マクラメ糸 | ダルマ、川端 |
| ○ちりめん手芸 | 東芸 |
| ○その他 | S.M、M.B他 |
| | 各手芸材料取り扱っています。 |



ボタン・手芸・毛糸

スギマサ

〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9

TEL (076) 421-3444

FAX (076) 421-4334

2. 県学会進捗状況 9月演題募集開始予定 ネットでの申し込みにする。その他のプログラム検討中
3. 委員会などの報告
 - ・MTDLP：6月29日50名、7月9日三県合同事例検討会14症例 次回福井 次々回富山開催予定 7月10日13例
 - ・新入会者部会配属案を作成した、調整後案内する
 - ・在宅医療研修会全5回、1回目が6月19日に終了、POST50名参加。
 - ・訪問リハビリテーション実務者研修会8月11日
 - ・平成30年11月富山県で年輪ピック開催決定、県から協力要請あり 7月25日会長が打ち合わせに参加
 - ・作業療法体験会 高岡地区7月24日・富山地区8月21日に実施
 - ・今年度の新規入会者を入れた名簿作成終了
 - ・介護予防事業 HPが立ち上がった。橋爪氏が窓口となり要請があれば地区をみて代表者に連絡し、派遣する。

〈検討事項〉

1. 士会会員システムサポート利用に必要な経費について 年間サポート料として64,800円の見積もり。サポート内容は、データバックアップ・サポート・セキュリティアップデート・不明点のレクチャー・システム改善の相談など→必要経費として承認
2. 富山県精神保健福祉大会長表彰候補者の推薦→北陸病院の開澤氏を推薦する
3. ホームページ運用
 - ・各研修会の案内と申し込みをウェブで行うことで業務を簡素化できないかと提案あり→機能的に問題ない。研修会開催側に申し込みリストが直接届くことができるよう対応可能か早急に検討してもらう。
 - ・定款など士会の運営に必要な書類・規定・様式の掲載→可能な限り掲載する
4. 地域ケアシステムについて POST合同研修会の日程調整 会より問い合わせのあった日程で士会が対応可能な日程を連絡する。→11月3日、23日の祝日の都合が良いと返答する。
5. 役員の名刺作成 理事が士会を代表して公的機関・関係機関・全国に出向することが増えてきている。県士会のものが必要→各理事の名刺を作成する。内容・レイアウトについて他県士会を参考に作成する。予算は一般的な金額としては100枚2千円くらいである。料金を含め業者についても検討していく。
6. MTDLP講師謝礼について→講師は規定どおりに支払う。ファシリテータは財務の事務時給と同じ1時間800円を支払うことにする。
7. 広報部より士会ニュースについて 内容がマンネリ化してきており、改善案がほしい→次回検討する

会員名(代表者)	住所
温泉リハビリテーション いま泉病院 (理事長 大西仙泰)	〒939-8075 富山市今泉220 TEL 076-425-1166
(株)ウイル (代表取締役 黒田 勉)	〒939-0311 射水市黒河3075 TEL 0766-56-7099
富山医療福祉専門学校 (学校長 辻 政彦)	〒936-0023 滑川市柳原149-9 TEL 076-476-0001
(有)スギマサ洋装店 (代表取締役 杉政正規)	〒930-0083 富山市総曲輪3丁目7-9 TEL 076-421-3444
学校法人金城学園 金城大学 医療健康学部 (理事長 加藤 真一)	924-8511 石川県白山市笠間町1200 TEL 076-276-4400(代)

編集後記

OTとして2年目の時期を迎えました。諸先輩方から学ぶことは多く、知識・技術ともに不足していることを痛感しています。また患者様から教わることも多く、日々充実した毎日を送っています。

今年から地域包括ケア病棟が発足し、急性期治療後の退院支援を目的としたリハビリテーションを提供しています。入院患者には独居の高齢者が多く、家事や外出などの日常生活が困難となる方が見受けられます。そのような患者様に対し、OTという専門職としての役割を果たしながら他職種と連携し退院支援を行うことを心がけています。

今年からは富山県内の勉強会や全国規模の学会への参加・発表を予定しています。積極的に学会・勉強会に参加しOTとしてのスキルアップへと繋げ、日々のリハビリ業務に生かしていければと考えています。
(N.M.)

